

阿南高専
「次世代光関連事業開発支援プロジェクト」
応用発展講座 光関連事業開発コース（第2フェーズBコース）
受講生募集要項

徳島県は平成30年度に内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金事業」に、光産業の生産額や雇用者数の増加を目的とした「次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」を提出し、採択されました（全国で7県）。本校も本事業に参加しており、本校が多年にわたり取り組んできたリカレント教育「LED技術者養成講座」をベースに、光関連商品・ビジネスの開発支援講座を昨年度より開設しています。

本講座は、新規事業開発に必要な知識を身に着ける基礎技術講座（第1フェーズ、半年間）と実際に新規事業開発に取り組む応用発展講座（第2フェーズ、1年間）で構成されています。令和元年10月より令和2年2月まで第1フェーズを実施しました。

第2フェーズは、Aコース（デザイン思考コース）とBコース（光関連事業開発コース）の二つのコースで構成されています。両コースともに5月下旬に開講予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、現在のところ受講者の方に来校して頂いての実施の目途が立たないため、来校無しでオンラインでの実施によりBコースのみ5月開講、Aコースは10月開講予定としますので、今回はBコースのみの募集です。

Aコース（デザイン思考コース）：令和2年10月開講予定(9月募集)

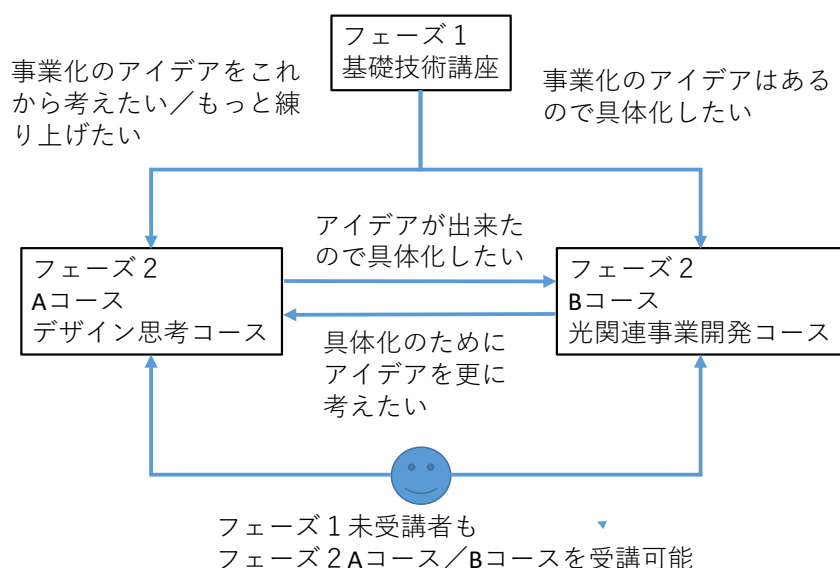
Bコース（光関連事業開発コース）：令和2年5月22日開講（来校無し、オンライン実施）

1. 第2フェーズの目的と概要

第2フェーズは、光関連の商品・ビジネスなどの新規事業開発を目指しており、Aコース（デザイン思考コース）とBコース（光関連事業開発コース）の二つのコースで構成されます。Aコースでは、多様性のあるメンバーで構成されたチームにより、デザイン思考の基礎を学びトレーニングを行うことで、革新的な新事業を創造できるベースを身に付け、製品案の立案、簡単な試作を行います。Bコースでは、受講者が提案する光関連事業のアイデアについて、本事業スタッフが支援を行い、アイデアの具体化と製品・ビジネス化に取り組みます。

A コース、B コースともに令和元年より実施した第 1 フェーズを受講していなくても受講可能です。また、A コースと B コース両方を受講することもできます。

次世代光関連事業開発支援プロジェクト講座構成



2. Bコースの目的

受講者が提案する光関連事業のアイデアについて、本事業スタッフ（本校教員・技術職員や本事業特命教授・助教、技術補佐員）が支援を行い、アイデアの具体化と製品試作さらには製品出荷やビジネス化することを目指します。

3. Bコースの受講対象

光関連事業に関する新規のアイデアを持つ方を対象としています。社会人だけでなく学生（大学生、高専生）も受講可能です。

4. 提出書類

受講志願書3枚（HPより書式をダウンロードできます。）

5. Bコース募集締切

Bコースはアイデア検討編と製品開発編で構成されますが、今回はアイデア検討編の募集です。
令和2年5月19日（火）まで（必着）

6. Bコース募集テーマ数

アイデアシート提出とプレゼンにより2～3テーマに選考
（共同アイデアの場合、1テーマに対して複数名で応募可能）

7. Bコース受講料（アイデアシート提出とプレゼンは無料）

Bコースアイデア検討編：10,000円（製品開発編は30,000円）
（共同アイデアで複数名応募の場合、各自10,000円）

8. 講座内容問い合わせ先

講座の具体的な内容についての問い合わせは、下記メールアドレスにご連絡ください。

長谷川 竜生 E-mail:hasegawa@anan-nct.ac.jp

9. 受講出願書提出先

メール、FAX、郵送のいずれかの方法により下記までお送り願います。

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265

阿南工業高等専門学校 総務課企画情報係

TEL：0884-23-7215／FAX：0884-22-5424／E-mail:kikaku@anan-nct.ac.jp

10. HP、Facebook

HPやFacebookに講座内容や現在の申込状況などを随時掲載していきます。また、新型コロナウイルスの影響により、講座スケジュールが変更になる可能性があります。変更があればHPに掲載しますので、ご確認をお願いいたします。

HP <https://www.anan-nct.ac.jp/facility/techno/recurrent/>

Facebook <https://www.facebook.com/ananrecurrent/>

11. 新型コロナウイルスへの対応

今回募集の第2フェーズBコースは、光関連事業のアイデアを持つ受講者の方に来校して頂き、本事業スタッフと相談を行って構想を練り上げ、アドバイスや製作協力を受けながら製作に取り組み、必要であれば本校の設備も利用して、製品開発を進めて頂く予定でした。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、来校して頂くことができませんので、オンラインで相談やアドバイスをを行う形で実施します。受講者の方は、所属企業や自宅で製作や実験に取り組み、製作や実験が困難な部分は、製品試作のために本講座で用意している試作費により外注するか、本事業スタッフで製作や実験可能ならば、本事業スタッフが担当して行います。

12. ネットワーク環境

オンラインでの実施のため、通信量制限が無く、高速なインターネット接続のコンピュータ（カメラ、マイク必要）が必要です。

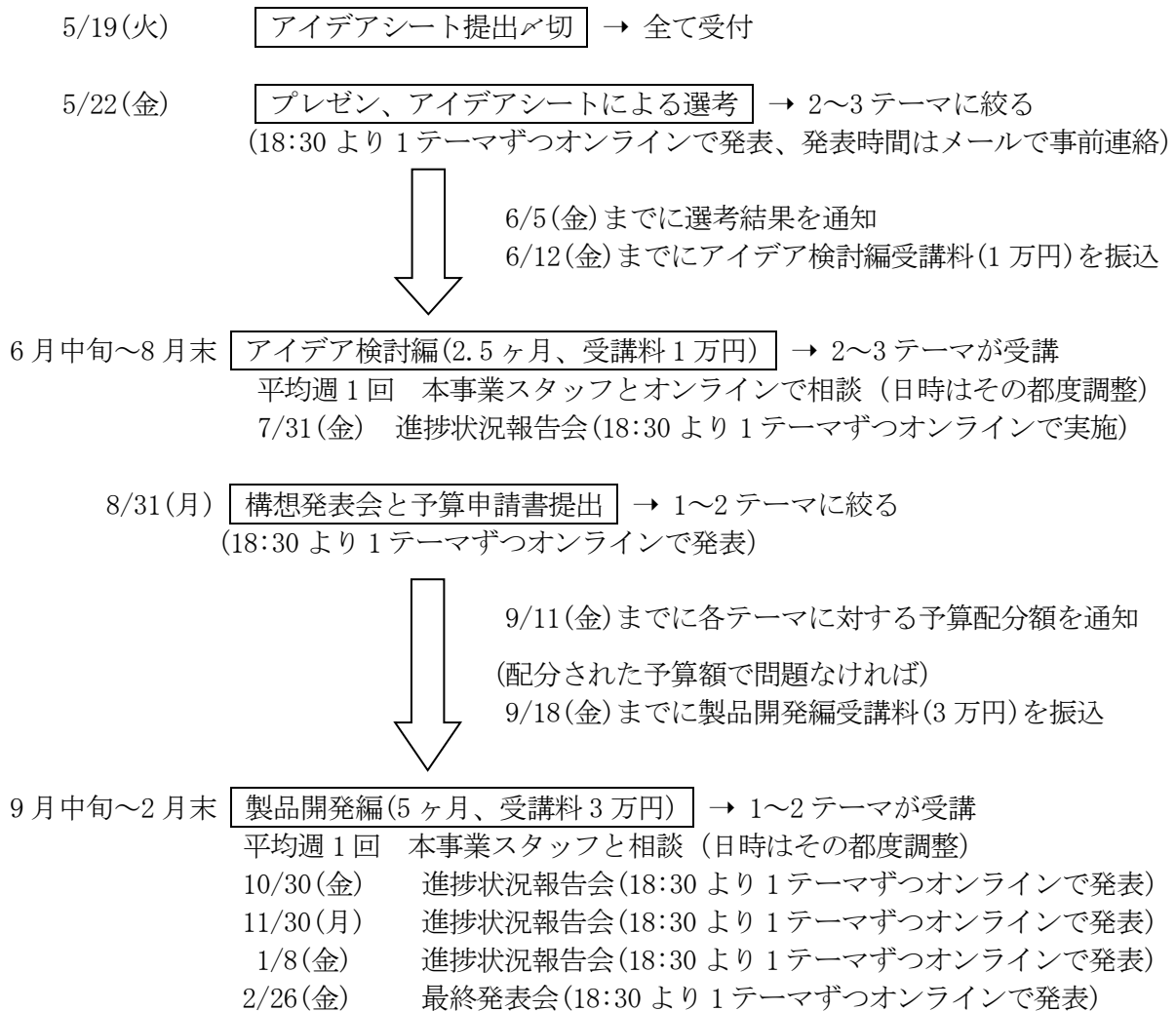
B コースの内容詳細

①講座の構成

本講座は、本事業スタッフの協力を受けながら、構想を具体化していく**アイデア検討編（2.5ヶ月）**と実際に製作を行っていく**製品開発編（5ヶ月）**で構成されています。まず、アイデアシートを提出した方全員にプレゼンをして頂き、選考を通過した方がアイデア検討編に進みます。

アイデア検討編、製品開発編ともに平均週1回程度、**本事業スタッフとオンラインで相談**を行って開発を進めます。相談を行う日時は、受講者が希望日の一週間前までに連絡し、本事業スタッフの予定と調整してその都度決定します。希望日時は平日の夜や土曜でもかまいません。限られたスタッフが複数テーマに対応しますので、相談を行うのは平均週1回程度になります。

また、1ヶ月を目安に**進捗状況報告会**で状況を報告して頂き、アイデア検討編の最後には**構想発表会**、製品開発編の最後には**最終発表会**を実施します。各発表会はオンラインで実施します。



②知的財産権、秘密保持

アイデアプレゼン、構想報告会や進捗状況報告会、通常の相談に、他の受講者は参加しませんので、本事業スタッフ以外に取り組みテーマに関する情報が伝わることはありません。もちろん、本事業スタッフは秘密を保持いたします（秘密保持誓約書に署名）。

本講座によって創出された知的財産権（発明、考案、意匠、著作物等）は、発明等を行った当事者間で協議のうえ、取扱いを定めるものとします。本事業スタッフが関与した知的財産権については、本事業スタッフを含めた当事者間で協議を行います。複数の当事者が共同して行った知的財産権の各自の持ち分は、当該知的財産権への貢献度に基づいて決定されます。

③試作費

本講座の製品試作のために、1～2テーマに対して**総額最大 100 万円**の予算を用意しています。

構想発表会と予算申請書の評価の結果、申請額より減額となるテーマも出てくるかと思えます。
配分された予算額で問題なければ、製品開発編の受講料 3 万円を納めて頂き、実際に製作を行う製品開発編に進みます。選考の結果、残念ながら落選となったテーマはここで打ち切りとさせて頂きます。本講座は令和 3 年度以降も開講予定ですので、またの受講をお願いいたします。

④受け入れテーマ数

最初のアイデアプレゼンはアイデアシート提出者全員にして頂きます。しかし、アイデア検討編、製品開発編では受け入れテーマを以下のように絞りたいと思います。

アイデア検討編：2～3 テーマ

製品開発編：1～2 テーマ

アイデア検討編を受講できるのは、プレゼンと申込時に提出するアイデアシートにより選考されたテーマのみとなります。また、製品開発編を受講できるのは、アイデア検討編最後に行う構想発表会と提出した予算申請書により、実現性と製品化したときの市場性の観点から評価を行い、選考されたテーマのみとなります。

限られた人数の本事業スタッフにより、申込者のアイデアに対して時間をかけて検討し具体化したいこと、限られた試作費を多くのテーマに分散させるのではなく少ないテーマに集中して製品化を実現したいためですので、申し訳ございませんがご了承願います。

⑤ファブラボの設置と導入設備

令和元年度に改修工事を行った本校の新実習工場内に、地域に開放するものづくりスペースである「**ファブラボ**」を新設しました。製品として出荷できるような新製品開発のためには、小型、高精細な電子回路が必要になることから、電子回路製作のための以下のような設備を本事業予算により導入し、ファブラボに設置しています。また、ファブラボには、本校の従来設備である 3D プリンタ、レーザー加工機なども設置しており、高度なものづくりを行うことができます。

チップマウンター・・・・・・・・小型のチップ部品の表面実装を自動的に行う

リフロー炉・・・・・・・・高温によりクリーム半田を溶かし部品のはんだ付けを行う

はんだ付けロボット・・・・・・・・自動で電子部品のはんだ付けを行う

エッチングレジスト印刷機・・・回路パターンを UV インクによりプリント基板へ印刷する

エッチング装置・・・・・・・・化学薬品により基板上の回路パターン以外の銅箔を除去する

スルーホール加工機・・・・・・・・穴内にメッキ処理を行い基板の表と裏をつなぐ

受講者の方にこれらの設備を使用した製作に取り組んで頂く予定でしたが、今年度は来校して頂くことができませんので、これらの設備を使用した製作が必要になった場合は、本事業スタッフが担当いたします。



ファブラボに導入された電子回路製作のための各種設備